

東京大学大学院医学系研究科  
疾患生命工学センターシンポジウム

発生工学の最先端  
Leading Edge of Embryology

2012年3月8日(木) 13:00～18:00

東京大学医学部教育研究棟14階 鉄門記念講堂

I 多機能性幹細胞と生殖細胞

丹羽 仁史

理化学研究所・発生再生科学総合研究センター

マウス ES 細胞の多能性を規定する転写因子ネットワーク

山田 泰広

京都大学・iPS 細胞研究所

細胞リプログラミングと発がん

篠原 隆司

京都大学大学院医学研究科・遺伝医学講座

マウス精子幹細胞の試験管内形質転換系の確立

斎藤 通紀

京都大学大学院医学研究科・生体構造医学講座

生殖細胞の発生機構とその試験管内再構成

II 胚操作とクローン

若山 照彦

理化学研究所・発生再生科学総合研究センター

マイクロマニピュレーターを用いた新たな生殖方法の開発

小倉 淳郎

理化学研究所・バイオリソースセンター

体細胞クローン胚に見られる X 染色体遺伝子の発現異常について

岡部 勝

大阪大学・微生物病研究所

マウス・ラットのキメラ動物の作製と応用について

参加費：無料

定員：250 名

※定員になり次第、締め切らせていただきます

Coordinators:

饗場 篤

東京大学大学院医学系研究科・附属疾患生命工学センター

動物資源学部門 教授

小倉 淳郎

理化学研究所・バイオリソースセンター

遺伝工学基盤技術室 室長

お問合せ先: Tel 03-5841-3620

Fax 03-5841-3679

Mail [akane@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:akane@m.u-tokyo.ac.jp)

<http://www.cdbim.m.u-tokyo.ac.jp>



東京大学大学院医学系研究科  
疾患生命工学センター



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO